

交換留学

交換留学とは、本学に在籍したまま、本学と交換留学協定を締結している海外提携校に1年間（提携校によっては1学期間も選択可）留学することをいいます。現地の学生とともに正規授業を受講するため、高度な語学力が必要ですが、その分得るものは多く、充実した留学生活が送れるでしょう。

留学先で修得した単位を、本学で修得した単位として互換することができますので、本学の4年間の修業年限内で留学することが可能です。ただし、単位互換には一定の条件があり、全ての科目が単位認定されるわけではありません。留年する可能性が全くないわけではありませんので、卒業のための単位修得については事前の確認が必要です。

【交換留学共通事項】

費用 本学に授業料を納めることで、留学先大学の授業料は発生しません。授業料以外に必要な経費（航空運賃、海外旅行保険、寮費、食費、教材費など）は、学生の自己負担となります。

助成金補助金 大学からの助成金 6か月未満：30万円 6か月以上：40万円
後援会助成金・同窓会補助金 6か月未満：3万円 6か月以上：11万円

募集 11月に説明会を開催し、その後書類選考、面接を経て留学候補者を決定します。申込時に、語学成績証明書（TOEIC L&R・英検・TOEFL iBT・IELTS）が必要になりますので、早めの対策を心がけてください。テネシー大学マーティン校はTOEFL iBT 61以上またはIELTS 5.5以上のスコアが必要です。現在はP21～26までの6校の海外提携校にて交換留学を実施しています。



交換留学は他のプログラムとは
申請スケジュールが異なります。

※スケジュールは変更になる可能性があります。

7月頃	帰国済みの交換留学経験者による相談会
11月上旬	交換留学説明会（参加必須）
11月中旬	申請締切
11月下旬	面接審査
1月上旬	結果発表
1月中旬	交換留学内定者向け説明会
5月末頃まで	留学先へ申請書類提出（留学先により期限は異なる）
6月末頃まで	留学先からの入学許可証を受領
7月以降	渡航準備（航空券手配、ビザ取得（渡航先により異なる）など）
8月上旬～9月下旬	出発（1学期間～2学期間）



交換留学は他の語学研修とは
学ぶ内容が異なります！

交換留学は、英語を学ぶためのプログラムではなく、現地の学生が受けている授業と一緒に受講するスタイルです。もちろん結果として英語力の向上は期待できますが、出発前から中級～上級の英語力を保有している必要があり、非英語圏に関しては、出発までにある程度現地の言語も学んでおく必要があります。

毎年希望者が多く、書類・面接審査があるため、交換留学を目指す場合は、しっかりと準備を進めましょう。学業成績（GPA）も審査されるため、語学力だけでなく、普段の授業も怠らないことが重要です。



アイルランド

ダブリン・シティ大学 (DCU)

Dublin City University

ダブリン・シティ大学ホームページ <https://www.dcu.ie/>

期間 翌年9月中旬～翌々年5月中旬
約8か月間

滞在形態 寮（またはアパート）

留学費用 総額 約120万円～180万円
ただし、為替レート、生活の仕方による個人差などにより、実際にはかなりの幅があります。

★受入機関・都市の概要

アイルランドの首都ダブリンにあるこの大学は、ダブリン国際空港と市内の中心地のちょうど中間地点に位置しています。バスでのアクセスが便利で、ダブリン市街地でのショッピングや歴史的建造物の見物が気軽にできます。キャンパスは広大で、図書館やスポーツ複合施設なども充実しています。留学生の受入も積極的に行っており、国際色豊かな大学です。

★留学概要について

交換留学生として約8か月間、DCUの学生と一緒に授業を受講するスタイルです。DCUで開講されている通常の科目を英語で受講するには、高い英語力が必要です。基本的には大学の寮での滞在となります。寮に入らなかった場合はアパートに滞在する可能性があります。授業のない時などは、近隣の国へ足を伸ばすことも可能です。高い英語力を持ち、長期間英語圏での生活を体験したい方に向いています。

わたしの
留学体験記

留学先 アイルランド

ダブリン・シティ大学 (DCU)

経済学部

佐々木 りな

2019年度
交換留学
出発時
3年生

2019年の9月から約8ヶ月間、ダブリン・シティ大学に交換留学しました。交換留学の経験を通して、今回は2点に絞って学んだことをお話ししたいと思います。まず1つ目に、交換留学先で「積極性の大切さ」を学びました。留学生用の授業ではヨーロッパからの学生が多く、同じ留学生といえども彼らの高い英語力に、初めは他の学生より遅れているのではないかと居心地が悪かったのを覚えています。さらに、講義中に先生の話を遮る勢いで質問をし、積極的に発言する学生に圧倒されるばかりでした。しかし、そんなレベルの高い学生との講義は、私にとって大きな力になったと思います。間違えても発言し、積極的に取り組む彼らの姿勢から、間違えることの恐怖や恥ずかしさよりも挑戦しないことの恥ずかしさを学びました。それからは、受け身で受けていた講義も積極的に取り組めるようになりました。また、ボランティアなどにも挑戦する勇気をもらいました。この経験を通して積極的に参加することは、自分の可能性を広げる機会になると実感しました。今後も、物事に対して積極的に取り組み、様々な事に対して積極的に挑戦することで、新しい自分を発見していきたいと考えています。

2つ目に「交流する力」です。私はキッチンスペースをルームメイトと共有する大学内の寮に住んでいました。寮ではアイルランドの学生2人と中国の学生、アメリカの学生と一緒に住んでいました。キッチンで共有して使うため、ルームメイトとの時間が多くなる中で、他国の人との交流に戸惑いました。異なる価値観を持った相手にどのように接したらいいのかわからず、はじめは言語の壁や生活文化の違いなどもあり、ルームメイトとぎこちない会話しかできませんでした。しかし、毎日積極的に交流したことで、徐々に互いを理解し合えるようになり、ストレスなく交流できるようになりました。最終的には、ルームメイトと過ごす時間が私にとってリフレッシュできる時間となりました。この経験を通して、違う文化の人と交流することは、自分とは異なる文化を受け入れる必要があり、また自分自身を積極的に表現して、相手に理解してもらう必要があると感じました。ルームメイトとの交流を通して、相手を理解しあうことで新しい価値観の発見や、創造力を広げることができ、異なる文化をもつ



人々との関わり方を学びました。

今後のグローバル化社会の中で、他国の人々と交流する機会が増える中で、他国の人との「交流する力」を活かして、良いビジネスパートナーとしての関係を築いていきたいです。アイルランドの留学を通して、つらい経験もありましたが、新しい地で積極的に頑張ったことは、今の私の自信につながっています。留学経験で学んだことは、今後の生活にあたって大きな資産となりました。

